

N8103 - 200 / N8503 - 200

ドライバアップデート手順書

『はじめに』

この手順書では、FibreChannelコントローラ(N8103-200/N8503-200)のドライバのアップデートについて説明しております。

本手順書は、以下の製品に対応したアップデート方法について説明します。
本紙では、特に断らない限り、以下の略称を使用します。

製品名

Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0

Microsoft® Windows NT® Server Enterprise Edition 4.0

略称

Windows NT 4.0

製品名

Microsoft® Windows® 2000 Server

Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

略称

Windows 2000

Microsoftとそのロゴおよび、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Emulexは米国Emulex Corporationの登録商標です。

『目次』

第 1 章	N8103-200/N8503-200 FibreChannel ドライバのアップデート手順	4
第 2 章	注意事項	14

第1章 N8103-200/N8503-200 FibreChannelドライバのアップデート手順

本章では、FibreChannelコントローラ(N8103-200/N8503-200)のドライバをアップデートする手順について説明します。

なお、CLUSTERPROをご使用の場合は以下(1)～(6)の手順に沿って実施してください。CLUSTERPRO操作に関する詳細は、CLUSTERPROのマニュアルを参照してください。

- (1) クラスタ内の各サーバにおいて、[プログラム] - [管理ツール] - [サービス]を起動し、ActiveRecoveryManager関連サービスの[スタートアップの種類]を「自動」から「手動」に変更します。
- (2) クラスタシャットダウン（再起動）を実行します。
- (3) 各サーバに対してFCドライバの置換を行います(本書の1.1章及び、1.2章を参照して実施してください)。
- (4) 各サーバをシャットダウンします。
- (5) 各サーバに対し、一台ずつ以下の操作を行います。
 - (5)-1 サーバを起動します。
 - (5)-2 OSのディスクアドミニストレータを起動し、共有ディスクの各パーティションのドライブレターが変わっていないか確認します。ドライブレターが変わっていたら、元に戻します。
 - (5)-3 CLUSTERPRO ディスクアドミニストレータを起動し、共有ディスクがX-CALLディスクとして認識されていることを確認します。Localディスクになっていたら、以下の操作を実施します。
 - a. LocalディスクになっていたディスクをX-CALLディスクに設定します。
 - b. サーバを再起動します。
 - c. CLUSTERPRO ディスクアドミニストレータを起動し、a.で行った設定が反映されていることを確認します。
- (6) 全サーバを起動します。

1.1 Windows NT 4.0でのアップデート手順

WindowsNT 4.0でのドライバのアップデートには、以下の媒体が必要ですので準備してください。

- ・「N8103-200/N8503-200 Windows Driver Disk」

本手順書と一緒にダウンロードしたN8103200.EXEを解凍して出来るファイル群を全て1.44MBフォーマット済みのフロッピーディスクにコピーしたものです。

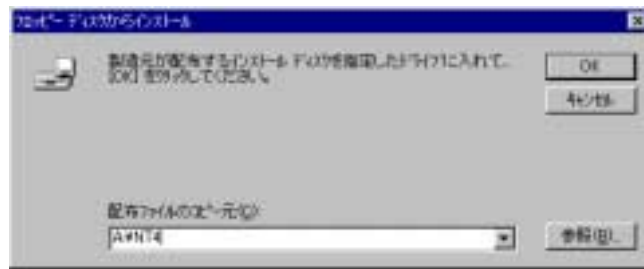
システムを起動し、管理者権限のあるユーザ(administrator等)でログインします。

[スタート] [設定] [コントロールパネル]でコントロールパネルウィンドウを表示させ、[SCSIアダプタ]を起動します。



[追加]をクリックし、「N8103-200/N8503-200 Windows Driver Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入した後、[ディスク使用]をクリックしてください。

[フロッピーディスクからインストール]ウィンドウが表示されますので、[配布ファイルのドライブ]に「A:¥NT4」と入力し[OK]をクリックしてください。



[ドライブ]のインストールウィンドウが表示されますので、[SCSIアダプタ]内の「Emulex LP6000/LP7000/LP8000/LP850, PCI-Fibre Channel Adapter」を選択し、[OK]をクリックしてください。ドライバがインストールされます。



ドライバのインストール後、システムを再起動し、以下の手順でアップデートの確認をしてください。

再起動後、管理者権限のあるユーザでログオンし、FWアップデート用媒体をフロッピーディスクドライブに挿入してください。

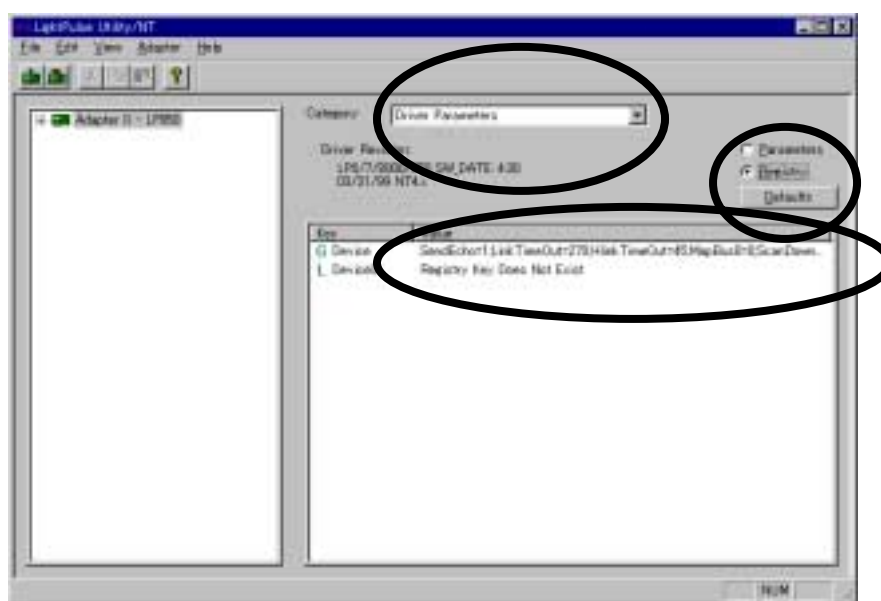
エクスプローラ等から” A:¥fw-update¥nt4¥input i nt.exe”を起動してください。



FWアップデートツールのウィンドウ中のCategoryで”Driver Parameters”を選択してください。

ウィンドウの右上にあるチェックボックスで”Registry”を選択してください。

ウィンドウ内の”Device”キーが”SendEcho=1;LinkTimeOut=270;HlinkTimeOut=45;MapBus=0...”となっていることを確認してください。値が違っている場合、ドライバのアップデートに失敗している可能性がありますのでもう一度アップデートを実施してください。



以上でドライバのアップデートは終了です。

1.2 Windows 2000でのセットアップ手順

Windows 2000でのドライバのアップデートには、以下の媒体が必要ですので準備してください。

- ・「N8103-200/N8503-200 Windows Driver Disk」

本手順書と一緒にダウンロードしたN8103200.EXEを解凍して出来るファイル群を全て1.44MBフォーマット済みのフロッピーディスクにコピーしたものです。

1.2.1 ドライバのアップデート

システムを起動し、管理者権限のあるユーザ(administrator等)でログインします。

[スタートメニュー]から[設定]を選択し、[コントロールパネル]を起動します。



[管理ツール]内の[コンピュータの管理]を起動し、[デバイスマネージャ]をクリックします。



[SCSIとRAIDコントローラ]をクリックし、ファイバチャンネルコントローラのプロパティを開きます。



[ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックし、[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選択し、[次へ]をクリックします。



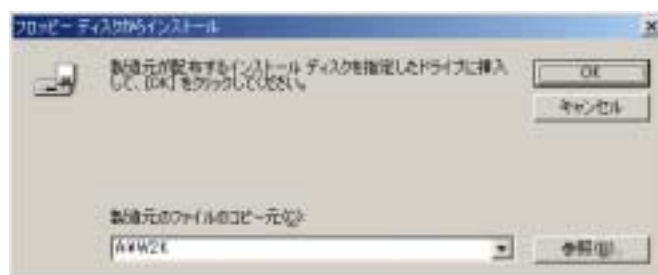
[SCSIとRAIDコントローラ]を選択し、[次へ]をクリックします。



「N8103-200/N8503-200 Windows Driver Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入した後、[ディスク使用]をクリックします。



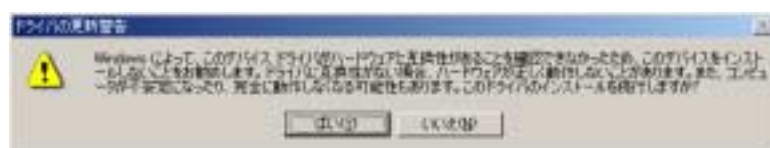
[製造元ファイルの北へ元]に“A:¥W2K”と入力し[OK]をクリックします。



- 以下の中からご使用の環境に合ったものを選択し、[次へ]をクリックしてください。
- FibreChannel用ハブ(FC-AL)をご使用の方
[Emulex LightPulse, Arbitrated Loop, Automap SCSI Device]
 - FibreChannel用スイッチングハブをご使用の方
[Emulex LightPulse, Fabric, Automap SCSI Device]
 - FibreChannel用ハブとFibreChannel用スイッチングハブを混在してご使用の方
[Emulex LightPulse, Arbitrated Loop, Automap SCSI Device]
 - FibreChannel用ハブをお使いでない方
[Emulex LightPulse, Arbitrated Loop, Automap SCSI Device]



[ドライバの更新警告]ウィンドウが表示されますが問題はありません。[はい]をクリックし次に進みます。



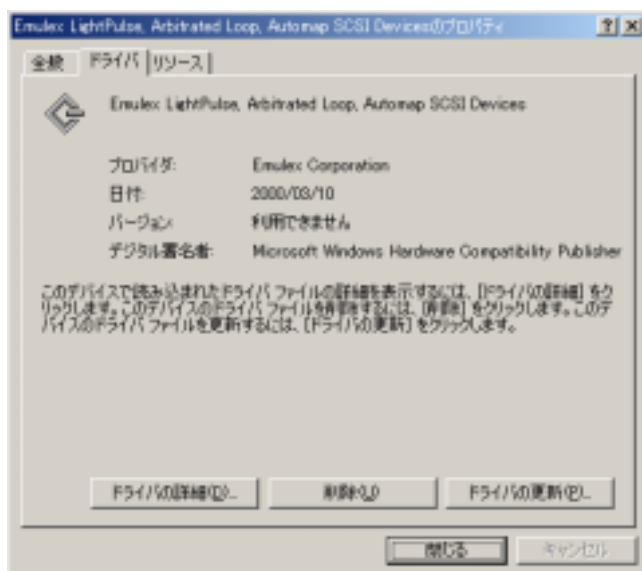
で選択したドライバが表示されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



ドライバがインストールされ、[新しいハードウェアの検索ウィザードの完了]ウィンドウが表示されますので[完了]をクリックしてください。



で選択したドライバのプロパティが開きますので[閉じる]をクリックし、セットアップを終了してください。



以上でドライバのアップデートは終了です。1.2.2 レジストリのアップデートに進んでください。なお、N8103-200/N8503-200を複数接続している場合は、接続しているすべてのコントローラに対してドライバのアップデートを実施し、すべてのドライバのアップデート終了後、1.2.2 レジストリのアップデートに進んでください。

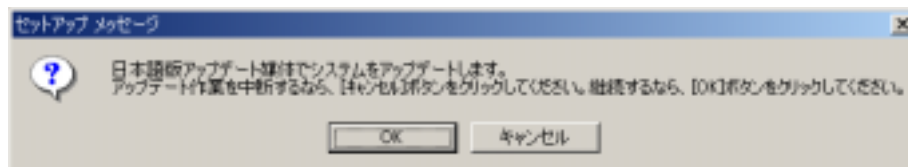
1.2.2 レジストリのアップデート

ドライバのセットアップ終了後に以下の手順にてレジストリのアップデートを行ってください。行わない場合、接続したデバイスを正しく認識できなくなることがあります。また、**本アップデート完了後にESMPRO/ServerAgentをセットアップされた場合にも再度アップデートを行ってください。適用されなかった場合ESM Storage Serviceが起動できなくなることがあります。**

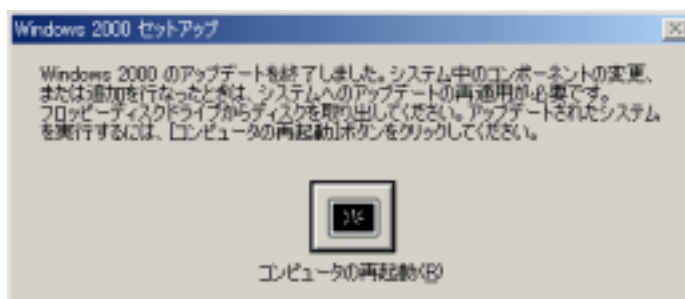
“N8103-200/N8503-200 Windows Driver Disk”をフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認し、エクスプローラ等から“A:\%w2k%update%update.exe”を起動します。



レジストリのアップデートが開始され、以下のメッセージが表示されますので“OK”をクリックしてください。



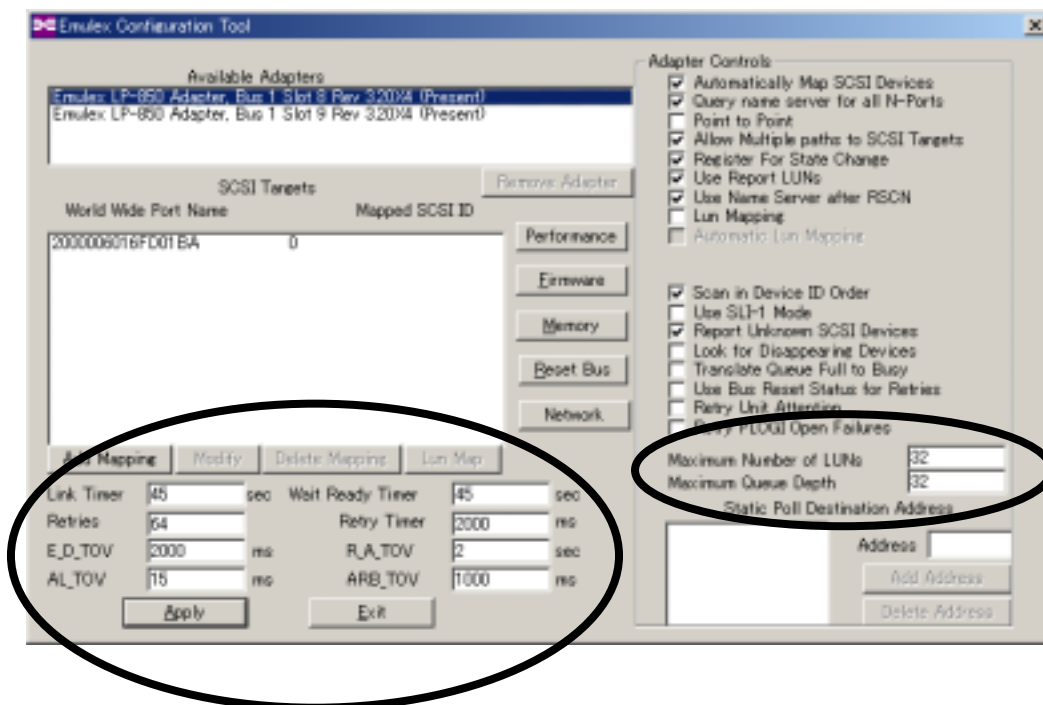
アップデート終了後、画面の指示に従って再起動してください。本レジストリのアップデートは再起動後、有効になります。なお、再起動後、管理者権限のあるユーザでログオンし、以下の手順でアップデートを確認してください。



エクスプローラ等から” A:\%Fw-update%w2k%elxcfg.exe”を起動してください

ウィンドウ内で以下の値が設定されていることを確認してください。設定されていない場合、ドライバのアップデートに失敗している可能性がありますのでもう一度アップデートを実施してください。

- Link Timer : 45sec
- Retry Timer : 2000sec
- Maximum Queue Depth: 32



第2章 注意事項

N8103-200を使用する際は、以下の注意事項をよくお読みの上、ご使用ください。

Windows NT 4.0でご使用の場合

- ・ クラスタ環境でご使用の場合、N8103-200を介して接続されている他のHostをPowerOff/Onした際に、以下のイベントログが登録されることがありますが、動作上問題はありません。

イベントID : #11
種類 : エラー
ソース : disk
説明 : ドライバはxxxxxxx でコントローラエラーを検出しました。

イベントID : #15
種類 : エラー
ソース : lp6nds35
説明 : デバイス xxxxxxx はまだアクセスできる状態ではありません。

Windows 2000でご使用の場合

- ・ クラスタ環境でご使用の場合、N8103-200を介して接続されている他のHostをPowerOff/Onした際に、以下のイベントログが登録されることがありますが、動作上問題はありません。

イベントID : #51
種類 : 警告
ソース : disk
説明 : ページング操作中にデバイス¥Device¥Harddisk¥DRx上でエラーが検出されました。

- ・ ドライバのセットアップ終了後、レジストリのアップデートを実施しない場合、ESM Storage Serviceが起動できなくなる場合があります。必ず実施してください。手順については1.2.2 レジストリの更新を参照してください。
- ・ 複数のN8103-200を接続している場合、接続したN8103-200すべてに対してドライバのセットアップを実施してください。この場合、レジストリのアップデートは最後のドライバのセットアップ終了後に行ってください。

Windows NT 4.0からWindows 2000にアップグレードインストールする場合

- ・ ご使用のOSをWindows NT 4.0からWindows 2000にアップグレードされる場合はアップグレードする前に必ず本ドライバを削除し、アップグレードインストール終了後、本手順書にしたがって、Windows 2000用ドライバをセットアップしてください。

FibreChannel用ハブとFibreChannel用スイッチングハブを混在してご使用する場合について

- ・ **Windows2000環境において**、FibreChannel用ハブに接続されているN8103-200と、FibreChannel用スイッチングハブに接続されているN8103-200が、同一基本筐体の実装されている場合、**全てのN8103-200ドライバのインストールは[Emulex LightPulse, Arbitrated Loop, Automap SCSI Device]を指定して実施してください**。詳細は本書P10を参照してください。